

県育成会便り とともに

第2号

社会福祉法人熊本県手をつなぐ育成会 令和3年2月1日発行



「今、日本人にとって最も大切なことは、”忠恕の精神”であります。」これは、平成年代のある年の新春記者会見の際、記者の質問にお答えになった天皇陛下（現在の上皇さま）のお言葉で、「自分自身に忠実で、他人のことを自分のことのように思いやる心」とのことであります。

論語の里仁篇に「夫子（孔子のこと）の道は“忠恕”のみ」とあり、孔子は“仁”を行なう方法として一貫して“忠恕の精神”であったと云われております。ひらたく云えば、“忠”は、まごころ、“恕”は、思いやりであります。

コロナ禍を克服するために、今こそ官民すべての日本人にとって最も大切なことは、“忠恕の精神”を忘れないことだと思います。

「寒明や 不要不急の 自粛令」（隼秋）

【会長 川村 隼秋】

【令和2年度知的障がい者相談員研修】

12月7日（月）に県庁地下大会議室で開催しました。新型コロナウイルス感染症予防のため、急遽、体験発表を取りやめ、内容を講演と行政説明に変更しました。講演では熊本県地域生活定着支援センターの吉野雅人センター長に、「地域生活定着促進～再犯防止に関する相談支援の現状～」と題し、障がいのある人の再犯とその支援の現状をお話しいただきました。参加者からは、「初めて聞く内容で興味深かった」「障害があるがゆえに起こりうる事件やトラブルがあることを知り対応の必要性を感じた」などの感想が寄せられました。

行政説明では①地域生活支援拠点の現状と課題 ②障害者差別解消法及び障がいのある人もない人も共に生きる熊本づくり条例について説明や相談事例の紹介がありました。

＜参加者総数:56人＞

知的障がい者相談員・生活協力員（34人）
地域振興局・市町村関係者（12人）
地域生活支援センター（3人：講師含む）
熊本県障がい者支援課（5人）
熊本県手をつなぐ育成会事務局（2人）



吉野氏による講話



県庁地下大会議室での研修

＜ギフト販売お礼＞

喫茶りんどうの運営資金に充てるため、夏と冬にお願いしている物品販売は、昨年12月も多くの方にご協力いただきました。学校・事業所・県庁関係課・地域育成会等の皆様に心よりお礼申し上げます。特に、例年好評の「プレミアムボックス」と昨年夏から始めた「喫茶店のカレー5食セット」には多くの注文がありました。今後ともご協力をよろしくお願いします。

なお、「業務用ビーフカレー（10食入り）」は、年間を通じてご注文を承っていますのでご希望がありましたら県育成会事務局へご連絡ください。



白いキャンバス～豪雨被害からの復旧

令和2年7月豪雨で甚大な被害に遭われた白いキャンバスの今坂施設長から復旧の現状をお知らせいただきました。2月15日(月)開催の事業所協議会研修会でも報告いただく予定です

多くの方々からのご支援とご協力のおかげで、なんとかキャンバスでの活動を再開することができました。また、キャンバスに気軽に立ち寄ってもらえるよう、入ってすぐのところにさをり織りの販売スペースを設けました。感謝の気持ちを決してわすれず、これからも、障害のある人の幸せのために努力してまいります。よろしくお願ひいたします。



被災当日



修繕工事中(9/1)



1階での活動再開(12/23～)9/1)

【障害福祉サービス等報酬改定について】

全
育
連
か
ら

来年度以降(原則として令和3年4月から令和6年3月まで)の障害福祉サービス報酬見通しが確定いたしました。全育連としても、久保会長を中心に社会保障審議会障害者部会や報酬改定検討チームでのヒアリングにおいて、新型コロナ対応も含めた支援の拡充を働きかけてきた経緯もあり、結果として「プラス 0.56%」の改訂となりました。ただし、このうち 0.05%は新型コロナ対応に特化した経費部分として、来年10月以降は切り下げられる予定となっており、ベースとしては「プラス 0.51%」となります。いずれにしても、当初はマイナス改定必至とされていたところ、小幅とはいえプラス改定になった点は評価できるかと思います。(12月18日:又村事務局長より配信)

DVD『こんな時どうする?コンビニバージョン』作成 くまくま隊(熊本市手をつなぐ育成会啓発キャラバン隊)

【令和2年7月豪雨被害に係るお見舞金】

11月30日付で、全育連本部から7月豪雨被害に係るお見舞金を送付いただきました。これは全国の育成会会員の皆様から頂いた心温まる義援金で、早速、被害に遭われた関係の地域育成会及び育成会事業所にお届けしました。なお、県内の会員・事業所の皆様から頂いた義援金は、既に昨年9月、お届けしています。



出前講座の様子

くまくま隊は、3年前からはじめた知的障がいを知つてもらうための啓発キャラバン隊です。熊本市の出前講座に登録していて、コロナ禍の中でしたが昨年は3件の依頼がありました。

そこで、コロナウイルス感染症が少し落ち着いた昨年夏、第二派、第三派の感染拡大の影響でキャラバン隊の活動ができなくなつた場合でも、せめてDVDを配ることができるように、知的障がいのある我が子のこんな場面を経験することが多いという親の意見から、『コンビニあるあるバージョン』を作りました。

★熊本市育成会HP、YouTubeにもアップしています。一度覗いてみて下さいね★

令和2年度厚生労働大臣表彰受賞

この度、令和2年度厚生労働大臣表彰を北島和子さん（宇城手をつなぐ育成会会長）が受賞されました。長年の育成会活動が評価されたもので心よりお慶び申し上げます。ご本人からコメントをいただいているのでご紹介します。



熊本県手をつなぐ育成会のご推薦により、この度、厚生労働大臣表彰を受けることができ、身に余る光栄でした。12月22日に県庁にて厚労省よりの伝達式が行われました。

昭和63年8月に知的障がいの子どもを持つ保護者と特別支援学級担任10数名で宇城地区に育成会を結成しました。それまで、宇城には障がいの子どもを持つ親同士の話し合う場がなかったのです。子どもたちの小さな1歩を大きな喜びとして、地域の中でささやかながら、手をつなぎ合って活動してまいりました。県育成会の評議員として全国の福祉の動きについて、多く学ぶことができました。これまで支えてくださった育成会の会員の方々、地域の方々に深く感謝申し上げます。これからも、真の意味の共生社会が構築されることを願い、微力ながら歩き続けたいと思います。

（北島 和子）

理事会・評議員会から

令和2年度第4回理事会を12月4日（金）に、臨時評議員会（12月開催）を12月18日（金）にそれぞれ開催しました。今回の主な議案は、①熊本こすもす園施設会計補正予算案 ②令和3年度「県育成会大会」でした。

新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されることから、次期開催地である荒尾市の意向を踏まえ総務企画委員会で検討した次年度の県育成会大会を中止とする案と令和4年度以降の開催地案を、理事会・評議員会で承認いただきました。令和4年度以降の開催予定地は次のとおり変更となりました。

年 度	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8
変更前	荒尾	芦北・人吉	天草	宇城・宇土	山鹿	熊本市
変更後	中止	荒尾	天草	宇城・宇土	山鹿	熊本市

※芦北・人吉は、令和9年度以降に移す。令和8年度の熊本市は70周年記念大会

【障がい者芸術展】

令和2年度の障がい者芸術展が、12月22日（月）～26日（土）まで熊本県立美術館分館で開催されました。県内の各地域育成会や各事業所から多くの作品の応募をいただき感謝申し上げます。開催期間中、新型コロナウイルス感染症予防のもと、美術館まで足を運んでいただいた方が多数おられました。今回は、特別展示として、北島宣夫さん（宇城手をつなぐ育成会）の作品が展示され、来館者の目を引いていました。



＜要望書の回答をいただきました＞

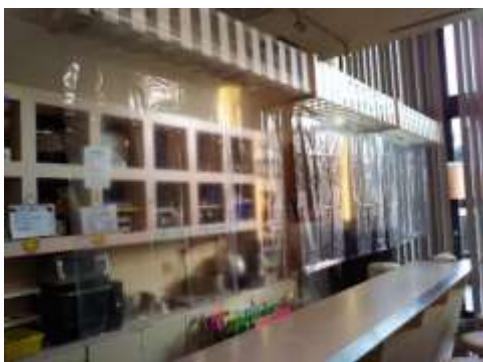
本年度の要望書は、昨年10月27日に障がい者支援課及び特別支援教育課に提出していました。例年は、この要望書の内容について県の関係部局の方々と意見交換会の中で回答を頂いておりました。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症への対応のため、文書による回答を1月4日付でいただきました。地域育成会事務局にお送りしていますので、内容等を確認されたい方は各育成会にお尋ねください。次年度も、要望書作成にご協力をお願いします。

ふれあい喫茶りんどうからのお知らせ

＜新型コロナウイルス感染症対策＞

ふれあい喫茶りんどうでは、新型コロナの感染拡大予防のため座席数を減らすなどの対応をとってきました。今回、さらに空気清浄機、アクリルパーテーション、カウンター飛沫防止シートを設置して感染症対策を強化しました。これは、熊本市飲食店等感染拡大防止環境整備（小規模改修等）支援事業の補助によるものです。感染拡大防止実践店として熊本市HPに掲載され、店にはステッカーを貼っています。今後も感染防止に努めますのでご理解とご支援をお願いします。



カウンター飛沫防止シート

＜喫茶りんどうニューフェイス＞

1月から新しく勤務することになった鶴山八知代（つるやま やちよ）さんです。3人の子供さんに手がかかるようになったこともあり、求人票を見て「是非、りんどうで働いてみたい」と気持ちが動いたそうです。これまで接客の仕事に就いた経験もありますので、早く仕事に慣れて力を発揮して欲しいと思います。

また、喫茶りんどう開業当時から20年近く勤めていた小宮未恭さんは、アビリンピック出場後に本人のご都合で退職されました。長い間、本当にありがとうございました。



【令和2年度事業所協議会研修会】

2月15日（月）に総合福祉センターの研修ホールで開催予定です。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前中の講演はオンラインで行うことになりました。

大阪のNPO法人み・らいず2代表理事である河内崇典（かわうち たかのり）氏に「福祉の将来を担う若手人材の採用と育成」

（仮）と題してお話しitただく予定です。人材獲得のための貴重なお話にご期待ください。また、障害福祉サービス等報酬改定の方向性について県障がい者支援課の方に説明をお願いしています。

2月7日までの予定で緊急事態宣言が出される中、予定どおり開催できることを願うばかりです。

1 講演（オンラインで実施）

「福祉の将来を担う若手人材の採用と育成」（仮）

2 行政説明 「令和3年度障害福祉サービス等報酬改定について」

3 活動報告 ①白いキャンバス（人吉市）②るびなす（玉東町）

会員（正会員・個人会員）募集

加入を希望される方は、各地域育成会又は県育成会事務局へご連絡ください。

『手をつなぐ』購読のご案内

「手をつなぐ」は、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発刊する機関誌です。

一部 400円

年間購読料3,900円



社会福祉法人 熊本県手をつなぐ育成会

〒860-0842 熊本県中央区南千反畠町3番7号 熊本県総合福祉センター2F

TEL/FAX 096-352-4149

メールアドレス kuma-ikusei@basil.ocn.ne.jp

ホームページ <http://kosumosuen.com/ikuseikai/index.html> (熊本こすもす園HP内)

フェイスブック <https://www.facebook.com/kuma.ikusei/>